

## 第22回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

令和元年12月26日(木)に、第22回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院新中央診療棟1階多目的室1で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、院内外の医師、看護師、MSW、薬剤師、作業療法士、心理士など参加され合計41名の参加者となりました。

当院の腫瘍センター吉野茂文副センター長より開会の挨拶があり、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

### 事例：「大学病院から在宅療養へ多職種協働で治療を完遂できた統合失調症を伴う咽頭がん事例」

山口大学医学部附属病院 精神科病棟看護師 吉松 宏剛先生  
訪問看護ステーション 私の家 吉弘 純先生  
山口大学医学部附属病院 患者支援センター 田中 志和先生

グループ討議では、様々な視点から活発に意見が出され、参加者の方々からは、「自部署の看護を中心とした事例について検討できてよかったです」「自分の勤めている科の動きにばかり目が行ってしまうが、多職種の連携の必要性、早急な介入の大切さを改めて学ぶことができた。また、今回の検討会で他科の生の意見を聞くことで、カルテ上だけでは分からない患者の状況を知れることができたため、話し合いの重要性を実感した」などの意見が寄せられ有意義な検討会となりました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 《検討会風景》



